2018 年 11 月 9 日

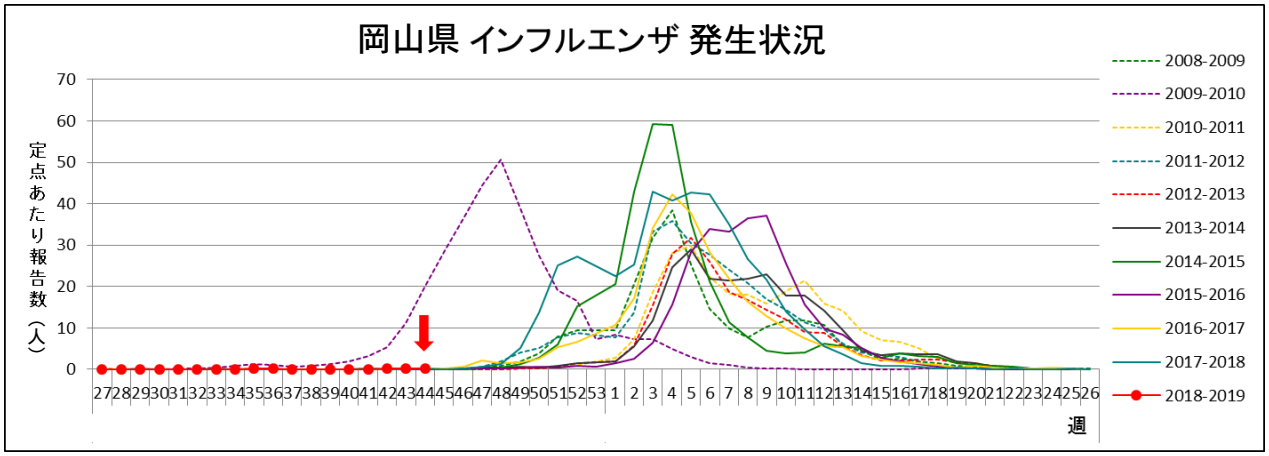
インフルエンザ週報　2018年 第 44 週 （10 月 29 日 ～ 11 月 4 日）

➢ 岡山県の流行状況

◯インフルエンザは、県全体で 14 名（定点あたり 0.17 人）の報告がありました（84 定点医療機関報告）。

◯インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。

◯インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。



※　インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第 27 週 ～ 翌年第 26 週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、岡山市で 6 名、備中地域で 3 名などの報告があり、県全体では 14 名（定点あたり報告数 0.17 人）の発生となっています。今シーズン（2018/9/3～）は、第 36 週（9/3～9/9）から散発的に患者が報告されており、第 39 週（9/24～9/30）、第 40 週（10/1～10/7）および第 42 週（10/15～10/21）にそれぞれ入院患者 1 名の報告がありましたが、患者の発生は少数にとどまっています。

全国の第 43 週（10/22～10/28）の発生状況は、定点あたり報告数が 0.19 人であり、今シーズンに入ってから徐々に増加しています。都道府県別では、沖縄県（2.10 人）、三重県（1.13 人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、流行開始の目安（定点あたり 1.0 人）を超える都道府県は、2 県となっています。

インフルエンザの本格的な流行は、通常 12 月に入ってからといわれますが、岡山県では第 39 週に学校等の臨時休業が報告されており、全国でも、すでに第 36 週からインフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が報告されています。外出後は手洗いを励行し、感染予防に努めましょう。

IDWR 速報データ 2018 年第 43 週（国立感染症研究所）

インフルエンザ Q&A（厚生労働省）

インフルエンザ 関連情報　2018/2019 シーズン インフルエンザワクチン株（国立感染症研究所）

1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	**患 者 数**	**14**	↗	備　中	患 者 数	3	→
	定点あたり	**0.17**			定点あたり	0.25	
岡山市	患 者 数	6	↑	備　北	患 者 数	0	↓
	定点あたり	0.27			定点あたり	0.00	
倉敷市	患 者 数	2	↑	真　庭	患 者 数	1	↑
	定点あたり	0.13			定点あたり	0.33	
備　前	患 者 数	1	↘	美　作	患 者 数	1	↘
	定点あたり	0.07			定点あたり	0.10	

【記号の説明】 前週からの推移　↑：大幅な増加　↗：増加　→：ほぼ増減なし　↓：大幅な減少　↘：減少

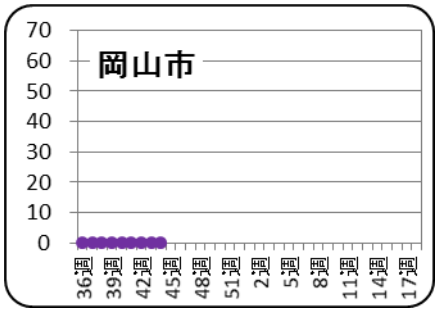
大幅：前週比 100%以上の増減　　増加・減少：前週比 10～100%未満の増減

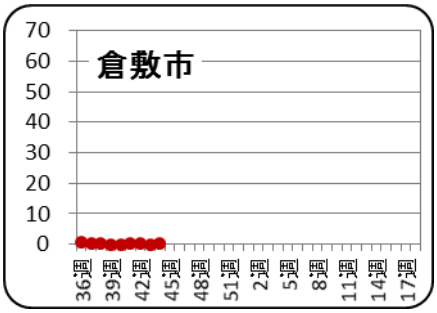
インフルエンザ感染症マップ

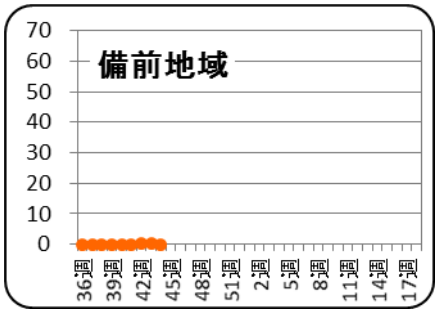
＜インフルエンザ発生レベル　基準＞

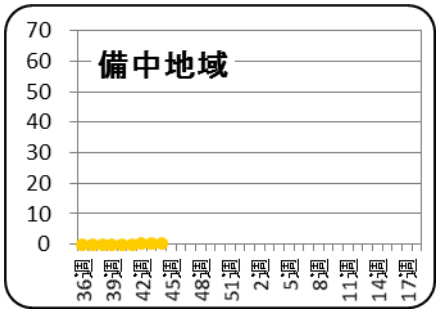
レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満

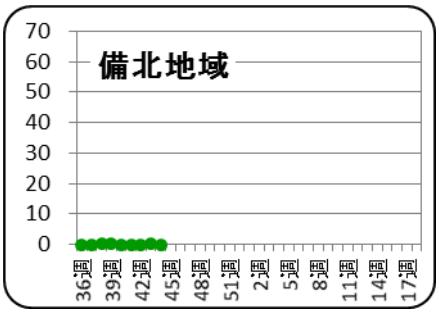
レベル1	報告なし
基準値	基準値
0 < 10 未満	0

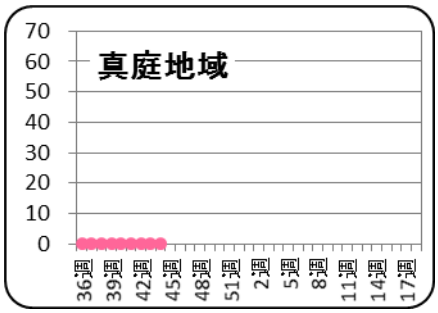


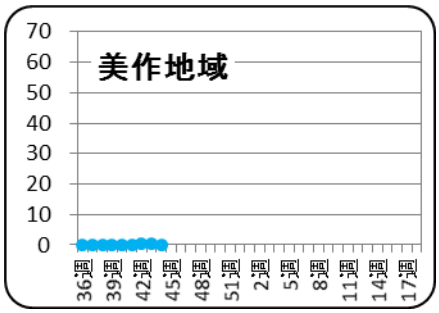


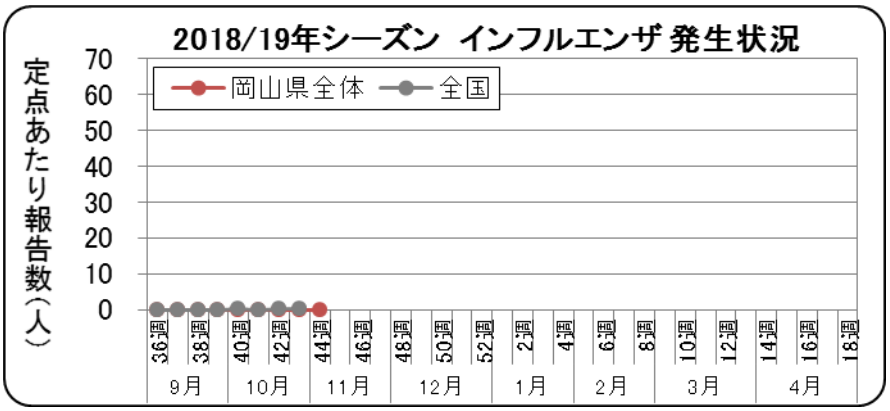










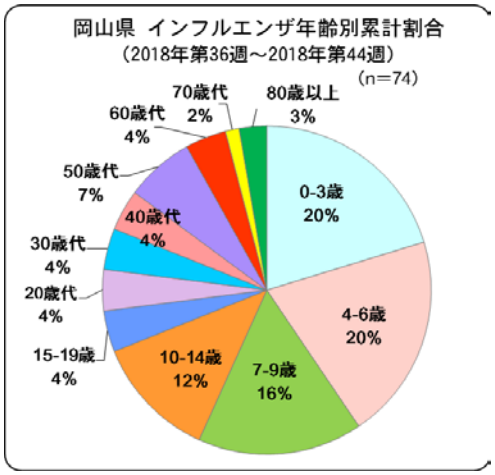


全国集計第 43 週（10/22～10/28）速報値によると、全国の定点あたり報告数は 0.19 人となり、前週（0.19 人）と同じでした。都道府県別では、沖縄県（2.10 人）、三重県（1.13 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。

インフルエンザの発生状況について（厚生労働省）

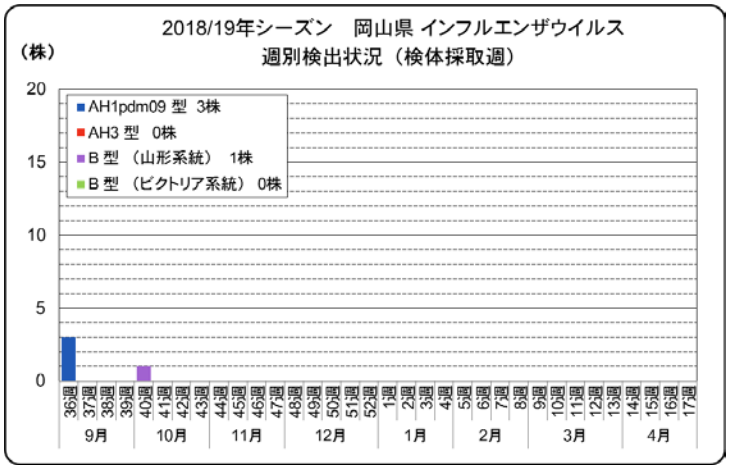
2. 年齢別発生状況

今シーズンの年齢別類型割合は、0-3 歳および 4-6 歳 20%、7-9 歳 16% の順で高くなっています。



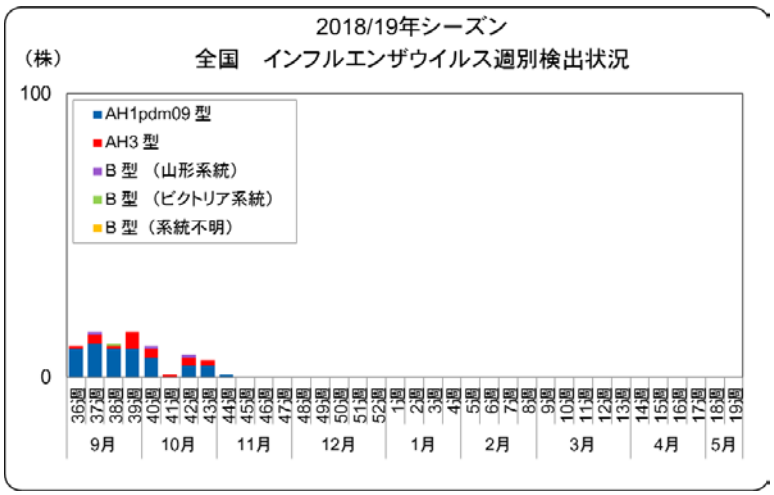
3. インフルエンザウイルス検出状況

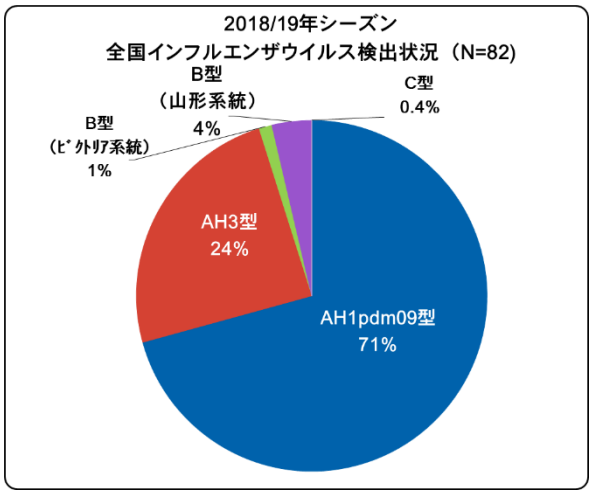
第 44 週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスはありませんでした。なお、第 36 週～第 43 週までに検出されたインフルエンザウイルスは 4 株（詳細は下表参照）でした。



ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスB型	2018年第40週(10/1～10/7)	2018/10/5	岡山市	中学生	男	集団発生事例山形系統
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2018年第36週(9/3～9/9)	2018/9/7	岡山市	幼児	男	集団発生事例
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2018年第36週(9/3～9/9)	2018/9/6	岡山市	幼児	男	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2018年第36週(9/3～9/9)	2018/9/6	岡山市	幼児	女	集団発生事例

今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3 型が 20 株、AH1pdm09 型が 58 株、B 型が 4 株〔山形系統 3 株・ビクトリア系統 1 株・系統不明 0 株〕となっています（11 月 2 日現在）。





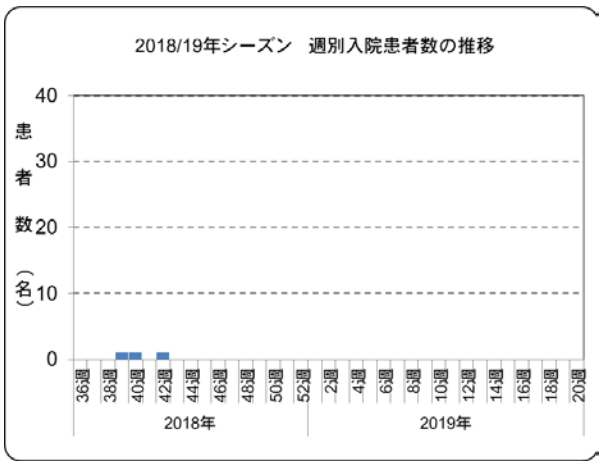
インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立感染症研究所）

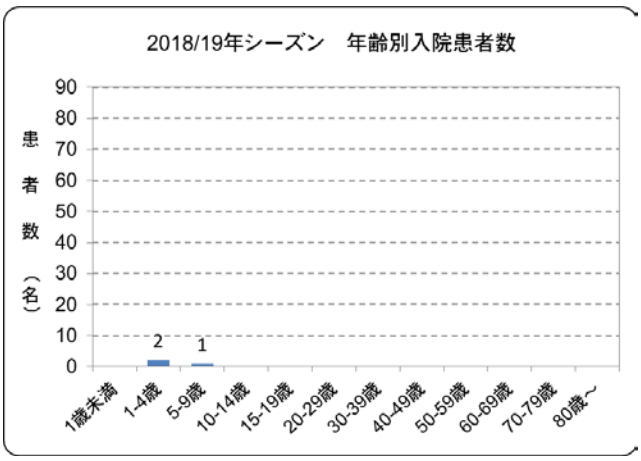
4. **インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数**

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業は、ありませんでした（なお、第 39 週に 1 施設の学校等の臨時休業がありました（岡山市）。）。

5. **インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）**

インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。





【2018 年 9 月 3 日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計
入院患者数		**2**	**1**										**3**
ICU 入室 ＊													
人工呼吸器の利用 ＊													
頭部 CT 検査(予定含) ＊													
頭部 MRI 検査(予定含) ＊													
脳波検査（予定含）＊													
いずれにも該当せず		2	1										3

＊ 重複あり

◆◆ インフルエンザの予防接種は、お早めに！ ◆◆

インフルエンザのワクチンによる効果が現れるまで、2 週間程度かかります。
本格的な流行がはじまる 12 月中旬までに、予防接種を済ませることをお勧めします。
定期予防接種の対象者は、積極的に予防接種を受けましょう。定期予防接種の対象者以外の方も、任意での予防接種を受けることをご検討ください。

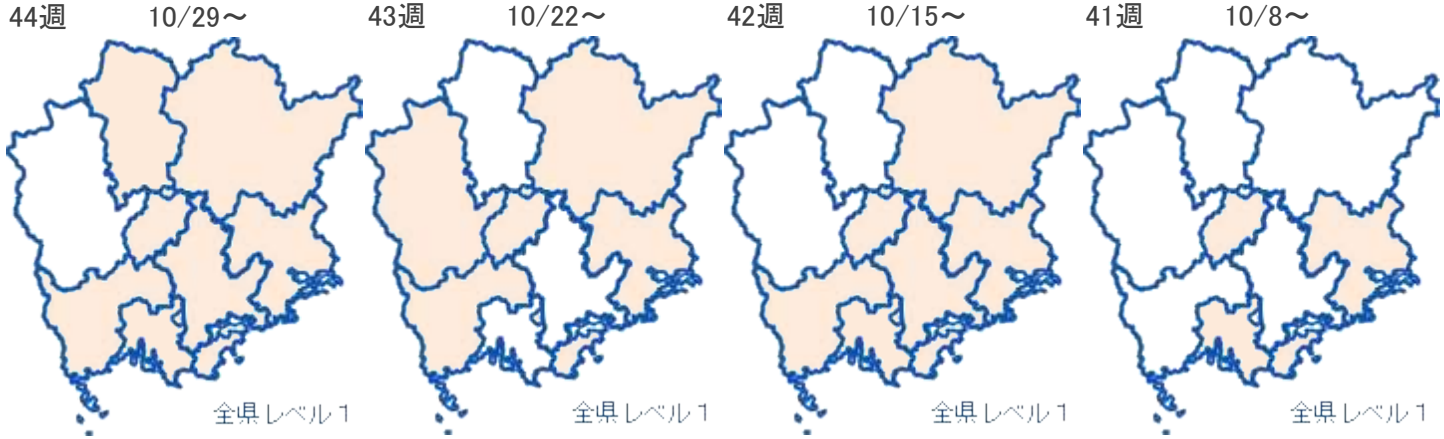
- 予防接種は発症の可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。
- 年により、流行するウイルスの型が変わるため、毎年接種する必要があります。
- 13 歳以上の方は、1 回接種を原則としています。

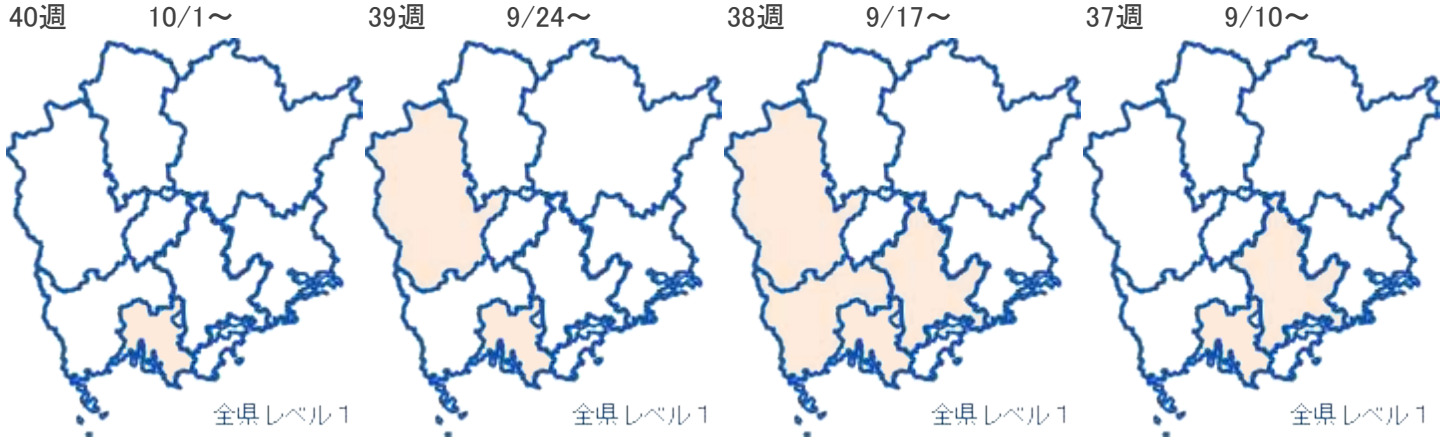
定期予防接種対象者
＊65 歳以上の方
＊60～64 歳で心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障がいがあり、日常生活が非常に困難な方

◎ワクチンの在庫および予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。
◎定期予防接種については、接種できる期間が市町村によって異なりますので、お住まいの市町村担当課にお問い合わせください。

岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ　2018年 44週

2018年11月7日
14:56:58





インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。